

沖縄県平和祈念資料館だより

次代への継承

沖縄県平和祈念資料館では、沖縄戦の歴史的教訓を正しく次代に伝え、平和を求める「沖縄のこころ」を発信し、世界の恒久平和に寄与するため多くの事業を行っております。

2階の常設展示室では、沖縄戦に至るまでの沖縄の歴史や鉄の暴風、地獄の戦場と言われる沖縄戦の実相を住民視点で描き、沖縄戦の体験を証言文や証言映像で紹介し、戦争の悲惨さ、愚かさ、醜さを肌で感じ取れるようになっております。さらに、戦後27年に及ぶ米軍統治、復帰運動等平和創造を目指す沖縄のあゆみを展示しております。

また、1階の子ども・プロセス展示室では世界の子供達について、戦争・紛争、いじめなどの人権問題や地球環境などの様々な問題を考えてもらうコーナー等が設けられており、情報ライブラリーと共に平和について学び、語り合う場として利用されています。

そのほかに当館では、児童・生徒の平和メッセージ展や特別企画展の開催、こども・プロセス展示室での催事、ギャラリー展等、お越しいただいた方々に展示を見て考えていただける様々な取り組みを行っています。

また、戦後74年が過ぎ、戦争体験者が減っていくなかで、平和への継承の取り組みがこれからますます重要となってきています。こうした中、私ども平和祈念資料館では、令和元年度事業「平和への思い」発信・交流・継承事業において、海外（韓国・台湾・ベトナム・カンボジア）から学生を招き、沖縄の学生と寝食を共にし、それぞれの国で起こったことについて学び、これからの平和について考える、次代への継承事業を行います。

世界へ「沖縄のこころ」を発信し、沖縄戦の歴史的な教訓を次代へ伝え、世界の恒久平和に寄与するために、これからも当館は平和発信の拠点としての役割を果たしていきたいと思っております。今後とも、常設展示室をはじめ各企画展等に足を運んでいただけるよう県民をはじめ多くの皆様に、これまで以上のご理解、ご支援をよろしくお願い致します。

沖縄県平和祈念資料館
館長 外間 裕 朋

第29回 「児童・生徒の 平和メッセージ」

図画部門最優秀賞作品



小学校低学年の部
高江小1年 莊司 七羽
「にじがあるへいわなせかい」



小学校高学年の部
中城小6年 仲栄真花
「平和への思いを折りづるのにせて」



中学校の部
あげな中3年 阿嘉 美咲希
「慰霊の日の夜明け」



高等学校の部
糸満高3年 外間 彩音
「あの日との繋がり」



特別支援の部
北谷中3年 高江洲 未来恵
「島の平和を見つけて」

第29回「児童・生徒の平和メッセージ展」報告

沖縄県教育委員会との共催で毎年実施している「児童・生徒の平和メッセージ展」は、今回29回目を迎え、120校から2,463点の応募がありました。

戦後74年が経ち、沖縄戦の記憶の風化が危惧される中、子どもたちのメッセージからは、戦争と平和に真剣に向き合い、平和を願う尊い思いが伝わってきました。そして、今の自分に何ができるのかを考え、平和な未来を創っていかうという意気込みが感じられました。

展示会は、沖縄県平和祈念資料館を皮切りに、八重山平和祈念館、宮古島市役所、沖縄県庁、名護市立中央図書館の県内5カ所で開催し、多くの方々が観覧されました。

今後も、「平和・命の尊さ」を考える機会、恒久平和を願う「沖縄のこころ」を伝える場となるよう取り組んでいきます。



作品紹介（沖縄県平和祈念資料館）



記念撮影（宮古島市役所）



表彰式（県庁）



展示会（八重山平和祈念館）

糸満市（沖縄県平和祈念資料館）

石垣市（八重山平和祈念館）

宮古島市（宮古島市役所）

那覇市（県庁1階県民ホール）

名護市（名護市立中央図書館）

6月23日（日）～7月5日（金）

7月12日（金）～7月21日（日）

7月30日（火）～8月8日（木）

8月19日（月）～8月23日（金）

9月11日（水）～9月24日（火）

第29回「児童・生徒の平和メッセージ」入賞者一覧(優良賞以上)

図画部門

小学校(低)の部(8名)

最優秀賞 莊 司 七 羽 (高江小1年)
 優秀賞 星 野 慈 勳 (白保小1年)
 仲 榮 真 芽 衣 (中城小3年)
 優良賞 照 屋 大 和 (真壁小1年)
 森 田 夏 実 (宮良小1年)
 豊 里 俊 都 (白保小1年)
 ラッカー玲那メイラ (越来小3年)
 大 城 颯 賀 (真壁小3年)

小学校(高)の部(11名)

最優秀賞 仲 榮 真 花 (中城小6年)
 優秀賞 野 村 一 世 (南大東小6年)
 大 城 希 歩 (ゆたか小6年)
 優良賞 砂 川 彩 乃 (西辺小4年)
 比 嘉 永 紗 来 (宜野湾小5年)
 佐和田 莉 央 (港川小6年)
 新 垣 友 野 (城南小6年)
 太郎良 芽 衣 (小禄小6年)
 新 村 暖 (古蔵小6年)
 ハルトン・エイブリー (南大東小6年)

中学校の部(11名)

最優秀賞 阿 嘉 美 咲 希 (あげな中3年)
 優秀賞 與 那 叶 久 徹 (安岡中2年)
 金 城 琉 南 (那覇中3年)
 優良賞 仲 村 渠 碧 花 (仲西中2年)
 比 嘉 陽 華 (名護中3年)
 平 良 真 白 (浦添中3年)
 青 田 妃 依 (安岡中3年)
 名 城 咲 希 (那覇中3年)
 屋 良 美 穂 乃 (那覇中3年)
 饒平名 利 音 (砂川中3年)
 大 前 夢 生 (石垣第二中3年)

高等学校の部(9名)

最優秀賞 外 間 彩 音 (糸満高1年)
 優秀賞 西 岡 育 美 (コザ高3年)
 久手堅 彰 哉 (知念高3年)
 優良賞 佐和田 愛 (小禄高1年)
 上 原 秀 輝 (コザ高2年)
 玉 城 彩 音 (糸満高2年)
 金 城 妃 美 佳 (普天間高3年)
 天 久 聖 菜 (首里高3年)
 仲 地 涼 (小禄高3年)

特別支援の部(5名)

最優秀賞 高江洲 未来恵 (北谷中3年)
 優秀賞 金 城 飛 沙 庵 (米須小3年)
 仲 村 すみれ (北谷中3年)
 優良賞 玉 城 尚 竜 (大道小6年)
 中 山 公 愛 (やせせ高等支援2年)

作文部門

小学校(低)の部(2名)

最優秀賞 星 加 倫 大 朗 (真喜良小1年)
 優秀賞 玉 城 柚 (宮良小1年)
 優良賞 該 当 者 な し

小学校(高)の部(5名)

最優秀賞 大 城 瀬 依 (南大東小6年)
 優秀賞 伊 関 菜 喜 (具志頭小6年)
 星 加 竜 大 朗 (真喜良小6年)
 優良賞 金 城 隆 希 (具志頭小6年)
 与 儀 和 奏 (具志頭小6年)

中学校の部(8名)

最優秀賞 豊 里 亮 太 (白保中2年)
 優秀賞 松 根 悠 (港川中1年)
 喜 納 笑 生 (港川中3年)
 優良賞 金 城 陽 詩 (開邦中2年)
 謝 花 ゆりあ (港川中2年)
 津嘉山 理 子 (沖繩尚学中2年)
 盛 田 葵 生 (沖繩尚学中2年)
 仲 松 花 (開邦中3年)

高等学校の部(8名)

最優秀賞 徳 元 陽 菜 (球陽高1年)
 優秀賞 上 原 彩 心 (那覇国際高1年)
 與 那 嶺 汐 音 (首里高3年)
 優良賞 高 良 日 奈 子 (那覇国際高1年)
 上 原 絵 利 花 (那覇国際高3年)
 天 久 聖 菜 (首里高3年)
 新 城 日 奈 乃 (首里高3年)
 高 良 梨 乃 (首里高3年)

特別支援の部(7名)

最優秀賞 竹 内 琉 照 (沖繩高等特支3年)
 優秀賞 喜 屋 武 盛 道 (沖繩高等特支2年)
 野 邊 瑠 華 誓 (沖繩高等特支3年)
 優良賞 比 嘉 龍 騎 (上田小4年)
 仲 村 龍 騎 (港川中1年)
 長 浜 李 菜 (沖繩高等特支2年)
 比 嘉 亜 夢 (沖繩高等特支2年)

詩部門

小学校(低)の部(4名)

最優秀賞 屋 宜 琉 榎 (大名小1年)
 優秀賞 安 仁 屋 瑛 翔 (城東小1年)
 安 仁 屋 学 都 (城東小3年)
 優良賞 上 原 諒 (糸満南小2年)

小学校(高)の部(8名)

最優秀賞 山 内 玲 奈 (兼城小6年)
 優秀賞 大 城 陽 菜 (とよみ小6年)
 大 城 ゆ ず (南風原小6年)
 優良賞 津 布 久 陽 (沖繩アミークス小4年)
 中 澤 匠 心 (沖繩アミークス小4年)
 山 城 麻 美 (屋部小6年)
 豊 里 咲 良 (南大東小6年)
 内 間 陽 音 (とよみ小6年)

中学校の部(8名)

最優秀賞 平 良 陽 奈 (玉城中3年)
 優秀賞 玉 城 愛 麗 (西原中3年)
 池 原 生 恵 (港川中3年)
 優良賞 仲 里 す み れ (開邦中1年)
 具 志 日 和 (開邦中2年)
 渡 口 琉 華 (渡名喜中2年)
 下 地 佑 和 (開邦中3年)
 知 念 侑 花 (玉城中3年)

高等学校の部(7名)

最優秀賞 金 城 愛 那 (首里高3年)
 優秀賞 安 仁 屋 紫 月 (開邦高1年)
 天 久 聖 菜 (首里高3年)
 優良賞 岸 本 紗 采 (陽明高1年)
 泉 川 和 花 (球陽高2年)
 新 川 り の ん (首里高3年)
 上 江 洲 未 来 (首里高3年)

特別支援の部(2名)

最優秀賞 該 当 者 な し
 優秀賞 永 山 月 乃 (沖繩高等特支3年)
 優良賞 國 場 夢 香 (沖繩高等特支3年)

令和元年度 第1回子ども・プロセス企画展 「1944年、沖縄戦前夜 -75年前、その時、何が……-」

沖縄戦に関する子ども向けの企画展として、子ども・プロセス企画展「1944年、沖縄戦前夜 -75年前、その時、何が……-」を5月27日から開催しました。来年2020年は、沖縄戦から75周年の節目の年になります。そして今年は、沖縄への第32軍(沖縄守備軍)の配備やサイパン・テニアンへの戦い、九州への学童疎開、対馬丸遭難、10・10空襲など沖縄戦につながる様々な出来事が起こった1944年から75年になります。

沖縄戦の実相を理解するためには、太平洋戦争の全体像を学ぶことはとても重要です。そこで、児童・生徒に関心を持って学んでもらうために、今年が「75周年」という節目の年であることを強調し、太平洋戦争の開戦から沖縄戦にいたる歴史の流れを展示しました。

沖縄がなぜ戦場になったのかを児童・生徒が学習できるようにし、また戦争中の子どもたちの状況についても焦点をあてています。

開催期間

5月27日(月)～7月10日(水)

9月3日(火)～10月31日(木)



令和元年度ギャラリー展

第1回 「体験者が描く 沖縄戦の絵」

期間：7月11日(木)～9月18日(水)

沖縄戦を体験した人たちによって描かれた「沖縄戦の絵」を展示し、戦争を体験した人たちが少なくなっていくなかで、つらく悲しい記憶を思い出して描いた絵を通してこのような悲惨な戦争があったことを改めて知ってもらい、戦争について、平和についてより深く考えてもらう場としました。



沖縄県平和祈念資料館 令和元年度特別展 武田美通・鉄の造形「戦死者たちからのメッセージ」

1. 開催場所および期間

沖縄県平和祈念資料館（1階企画展示室） 令和元年11月1日（金）～12月15日（日）

2. 趣旨

沖縄県平和祈念資料館は、人間の尊厳を何よりも重くみて、戦争につながる一切の行為を否定し、平和を求め、人間性の発露である文化を愛する心である「沖縄のこころ」を原点として、沖縄戦の実相と歴史的教訓を正しく次代に伝え、世界平和の樹立に寄与するため、国内外へ平和を発信する拠点として活動してきました。

今年度、当館では、「鉄の造形作家」として活動した武田美通氏の作品を展示します。皇国少年として育った武田氏は、35年間のジャーナリスト生活を経て、鉄の造形作家となりました。2016年に80歳で亡くなるまで、太平洋戦争で飢餓に苦しむ日本兵や自死しようとする母子、沖縄戦の犠牲者等を、鉄の造形によって表現する作品の制作活動に取り組みました。鉄の骸骨に具象化された作品は30点で、そこに添えられた「戦死者たちからのメッセージ」は、戦死者たちの無念や悲しみ、様々な思いに光をあてており、人々の心を揺さぶり次世代への力強いメッセージとなっています。

本館での展示資料と併せて戦争の愚かさや恒久平和への願いを発信することを目的として、令和元年度特別展として開催します。



友の会活動状況

1 沖縄県平和祈念資料館友の会(平成17年設立)では、資料館と連携しながら学習会やフィールドワークを自主的に行うとともに、以下のような活動を行っています。

- (1)地域(県全域)および学校における平和学習の支援
- (2)県外からの平和学習団体への講話・ガイド
- (3)沖縄県平和祈念資料館常設展示室での解説

2 活動状況(平成31年4月から令和元年6月30日現在)

(1)平和講話・ガイド実績

団 体	実施件数(昨年度比)	実施人数(昨年度比)	派遣講師(昨年度比)
高等学校	19件(-1)	4,619名(-665)	19名(-1)
中 学 校	37件(-3)	5,872名(-514)	37名(-16)
小 学 校	17件(-4)	9,074名(-1,102)	17名(-4)
そ の 他	15件(+3)	299名(+47)	15名(±0)
合 計	88件(-5)	19,864名(-2,234)	88名(-21)

県内：小学校16校、中学校6校、高校5校

県外：小学校1校、中学校31校、高校14校

(2)常設展示室解説委員 配置実績18人

(3)平和祈念財団こいのぼり掲揚事業への協力

(4)学習会：平和学習ウォーク 4月13日(土)

「安里から首里への道」

講師：仲村 真 氏

当時の証言者：翁長 安子 氏 (89歳)

吉嶺 全一 氏 (87歳)

(5)令和元年度 友の会総会 5月18日(土)



令和元年度 友の会総会 の様子

八重山平和祈念館 令和元年度 事業実施報告

(1) 初任者教諭対象見学説明会

【期間】 令和元年5月23日(木)、5月28日(火)
5月30日(木)、6月13日(木)

地域の小中学校において、平和学習の場として当館を活用いただくことを目的として、初任者教諭を対象とした見学説明会を実施しました。

説明会では、当館利用にあたっての手続き方法、常設展示の解説を行い、20名近くの方々にご参加いただきました。



(2) 「八重山の戦跡～たどる島の記憶～」

【期間】 令和元年6月1日(土)～6月30日(日)

八重山地域に存在する忠魂碑・慰霊碑・戦争遺跡を紹介するとともに、戦争マラリア体験者の証言を展示しました。

また、八重山の戦争について学べるクイズコーナーの設置や、戦争体験者の証言映像を上映しました。

6月は各学校で平和学習が活発に行われる時期であり、来館した多くの生徒たちにとって、当企画展は悲惨な歴史を学び、平和について考える場となりました。



(3) 慰霊の日アニメビデオ上映会

【期間】 令和元年6月23日(日)

6月23日の慰霊の日に、戦争に関するアニメや戦争体験者の証言映像の上映会を実施しました。

当日は、常設展示の観覧料が無料となったこともあり、1日をとおして多くの方々が目撃され、アニメと展示物をご覧になっていました。



県内学校向け平和講話について

沖縄戦の歴史的教訓を次代へ正しく伝えることが急務となっています。当館では沖縄戦の理解と平和のために何ができるかを考えるきっかけになるよう、県内の小中高校、特別支援学校、特別支援学級、児童相談所、適応指導教室に対する「平和講話」を実施しております。内容は、沖縄戦に至るまでの歴史的経緯や沖縄戦の特徴、常設展示室の見所などです。総合学習等の一環としてさらなる活用をお願いします。また、県内の離島・国頭地区の小中高校、特別支援学校においては「離島・遠隔地講師派遣事業」を実施しております。詳細については、当館のHPや電話でお問い合わせ下さい。(今年度は3件実施済み)

年間を通して平和講話を実施しておりますが、4月から慰霊の日にかけては混み合いますので早めのご予約をお願いいたします。



平和講話実施の様子（青年の船 H31.1月）

○平和講話実績（令和元年4月～6月）

団体	実施件数（昨年度比）
小学校	68件（+6）
中学校	17件（+2）
高等学校	7件（-5）
特別支援学校	5件（+1）
その他	7件（+5）
合計	104件（+9）

大学連携事業について

- 沖縄大学 吉井ゼミ平和学習
※学生10名・琉球大学の教員1名 参加
(1)期日：令和元年7月6日（土）13:30～16:30
(2)内容：平和講話、常設展示室見学、フィールドワーク（平和の礎、戦跡等）
- 当館来館による平和学習や、当館職員派遣による出張講話を随時実施しています。
大学生の視点で平和な社会を構築するために必要なものを考えてみませんか。
【講話やフィールドワークの内容や所要時間は柔軟に対応できます】

資料のご提供について

戦後74年を迎え、戦争を知らない多くの戦後世代へ、二度とおこしてはならない戦争の教訓を語り継いでいかなければなりません。そのためには、戦前、戦中、戦後の資料等が重要な役割を果たしていくこととなります。このような資料をお持ちの方、是非ご寄贈下さいますよう、御協力お願い致します。詳しくは、沖縄県平和祈念資料館までお問い合わせ下さい。

資料の貸出しについて

当資料館では、「沖縄戦体験者証言ビデオ」、「沖縄戦写真パネル」、「沖縄戦の絵」、「実物資料」、「平和学習キット」の貸出しを行っています。平和学習の補助教材として、県内外学校等からの申込みをお待ちしております。

編集・発行：沖縄県平和祈念資料館

住所 〒901-0333 沖縄県糸満市摩文仁614番地の1
URL <http://www.peace-museum.pref.okinawa.jp/>

TEL 098-997-3844 FAX 098-997-3947
E-MAIL webmaster@peace-museum.pref.okinawa.jp

